

台湾・ラヤバーガーでドラゴンクエストIP活用施策を展開 ～IPファンベースのグローバル拡大に向けた取り組みとして～

株式会社スクウェア・エニックス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：桐生 隆司、以下当社）は、本日2026年5月19日（火）から Sun Spark Co., Ltd.（本社：台湾桃園市、代表取締役社長：徐沛源）が運営する台湾の外食ブランド Laya Burger（以下ラヤバーガー）でドラゴンクエスト IP を活用したコラボレーション商品を期間限定で販売することを発表しました。なお、本施策は台湾を対象とした取り組みであり、日本での販売予定はありません。



ラヤバーガーは、台湾に500店舗以上を展開する朝食メニューを主軸とした外食ブランドです。期間中は、コラボレーションメニューおよび限定グッズを展開します。本施策にあわせて描き下ろした「ラヤキングスライム」が登場し、現地で親しまれているペット向けアイテムの文化を踏まえ、「ラヤキングスライム」をモチーフとしたペット用被り物も展開されます。

ラヤバーガー公式サイト：<https://www.laya.com.tw/>

当社は、IPを軸としたコンタクトポイントの強化およびグローバルでのIPファンベース拡大を、重要な取り組みの一つとして推進しています。今回の施策は、地域の市場特性やパートナーの強みを活かし、IPの魅力を現地の方に届けることを目的としたものです。今後も地域の枠を超えたIP活用を通じて、多様な顧客接点の創出を推進し、グローバルでのIPファンベースのさらなる拡大を目指してまいります。

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックスについて

株式会社スクウェア・エニックスは、エンタテインメント分野において、創造的かつ革新的なコンテンツ/サービスのヒット作品を生み続けるリーディングカンパニーです。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（累計出荷・ダウンロード販売本数9,700万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（同2億900万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。（<https://www.jp.square-enix.com>）